

將軍

溜詰…溜間に席を与えられた者。譜代大名の上級者・老中を勤めた大名などの名譽職。

菊間…三万石以下の譜代大名・大番頭などが詰めた詰所。

老中…江戸幕府の最高職。老中の上に必要なに応じて臨時で一名置かれた。

側衆…交代で江戸城に泊まって、夜間老中にかわって城中の事務を処理した。

側用人…いつも將軍のそば近くについて、將軍の命令を老中に伝えた。

留守居(留守居年寄衆・奥年寄) — 広敷御用人(用達) …大奥の取締、非常立ち退き、諸國閑所の女手形などの事務の仕事をし、將軍が留守の時は城中の警備をおこなう。

御三卿御附…田安家・一橋家・清水家の三卿につけられる家老で、旗本より選ばれた。

大目付…大名・交代寄合・高家の觀察など幕政の監察をする。

大番頭 — 大番組(大番衆) …江戸城および、江戸市中の警備にあたる。

江戸町奉行…町の行政・司法を仕事とする。

勘定奉行…幕府の領地の租税徴収・幕府財政の運営・幕府の領地の訴訟を取り扱う勘定所の長官。

勘定吟味役…勘定所の役人で、奉行以下の行政の監察権をもっている。

作事奉行…幕府の建築工事の一切を仕事とする。

普請奉行…石垣・堀などの土木建築の基礎工事や上水の管理を仕事とする。

小普請支配 — 小普請…三千石以下の仕事のない旗本・御家人で編入される。老幼・病氣・罪をおかすなどを統率する。

旗奉行…將軍の軍旗・馬標などを管掌する。

鎗奉行…長柄同心および八王子千人組頭を統轄する。

本丸留守居番

宗門改…幕府の領地などの、宗門改のことを仕事とする。

京都町奉行…遠国奉行の一つ。京都の町の支配、五畿・近江・丹波・播磨八ヶ国(後、山城・大和・近江・丹波の四ヶ国)の公事訴訟や寺社支配、禁裏御所の警衛などを任務とする。

禁裏付…京都所司代の統括下で、禁裏の会計・警衛を管掌し、朝廷・公家・女官などを監督した。

伏見奉行…遠国奉行の一つ。京都所司代の統括下で、伏見の町の支配、宇治・伏見・木津川の船舶を取り締まる。京都御所の警衛、西国諸大名往來の監視、近江・丹波國への政令発令や公事訴訟にもあたる。

大坂町奉行…大坂市中の行政・裁判など民政一般のほか、廻米・消防・警察・糸割符なども管轄する。

大坂船頭…大坂に駐在して西国の公私の船舶・貨物の監査を行う。

若年寄

…老中の次座。老中を補佐しつつ幕政の枢機に参与する一方、旗本・御家人の支配統轄にあたる。

堺奉行…遠国奉行の一つ。和泉堺の町内および港湾を管轄し、町民の訴訟処理にあたる。  
奈良奉行…遠国奉行の一つ。京都所司代の統括下で、奈良の町の行政や寺や神社の支配にあたる。  
山田奉行…遠国奉行の一つ。伊勢神宮の警衛と遷宮の奉行、伊勢・志摩両国の支配と訴訟取り扱い、鳥羽港の警備などをおこなう。

駿河(駿府) 城代…駿府城に駐在して行政・警備・城修理や久能山家康廟の代拝、管内巡見にあたる。  
日光奉行…日光東照宮の守衛と一切の事務を管轄し、日光の町のいろいろな政治と上野・下野両国の訴訟も取り扱う。  
長崎奉行…長崎において外交・通商・司法事務を管轄する。  
佐渡奉行…遠国奉行の一つ。島内の統治・鉱山監督・北辺の監視などをする。  
松前奉行…遠国奉行の一つ。函館に駐在し、蝦夷地支配にあたる。  
甲府勤番支配 甲府勤番 …甲府城警備のための勤番。のちに多く左遷された非役の御家人がなった。甲府勤番支配はその長官。

書院番頭

書院番組頭

…江戸城の警衛、将軍のお出かけ・市中巡回にもついて行く。

小姓組番頭(小姓組頭取)

…書院番と同じ仕事内容。

小姓組番組頭

小姓組番衆

新番頭…江戸城内に交替で勤め、将軍お出かけの際に先駆け・警衛をする。

小普請奉行…江戸城本丸以下幕府関係の建物を建てたり修理する。

中奥小姓…中奥で雑務を勤める。

中奥番…中奥で、中奥小姓とはかって儀式のことを相談したり、下賜品や献上品の役送、給仕などをする。

小納戸頭取

小納戸衆

…小姓に次いで将軍の側にいる職。将軍身辺の雑務を担当する。

百人番頭(百人組頭)…同心百人ずつで編制した鉄砲組。江戸城大手三ノ門の守備や、将軍の寛永寺・増上寺参詣の際の警衛を務めた。

持弓頭…持弓と力。持弓同心を率いて、将軍を護衛する。平和な時は、江戸城中の仕切門を警固する。

持筒頭…持筒と力。持筒同心を率いて、将軍を護衛する。平和な時は、江戸城中の仕切門を警固する。

先手弓頭

先手弓組

…江戸城諸門の警備、将軍お出かけの際の護衛、また、火付盗賊改として江戸市中の巡視などを担当する。

先手鉄砲頭

先手筒組

…江戸城諸門の警備、将軍のお出かけの際の護衛、また、火付盗賊改として江戸市中の巡視などを担当する。

常火消役…江戸市中の消防にあたる。

二ノ丸留守居

目付…若年寄の耳目として旗本・御家人を監察した。

使番…將軍の上司として、代替わりの時に諸国巡回、大名の監察、城の受け渡しの立ち合い、二条・大坂・駿府・甲府などの要地への出張を任務とする。

火事場見廻…江戸市中に火事があったとき、消火の指揮に当たるほか、被害状況などの視察・報告を行う。

小十人頭…戦時には將軍馬廻りの警固に当たり、平時には小十人番所に勤番し、將軍のお出かけの際に先駆としてお供した。

歩行頭…將軍が出かける時、先駆て治道警備に当たり、平常は玄関・中ノ口に勤務。

中川番…中川に設けられた川船を対象とする番所での勤務。

船手頭…幕府の用船の管理や、山陽道・西海道の海上巡視などにあたる。

屋敷改…屋敷に関する一切の事務をつかさどる。

寄合肝煎  
寄合…三千石以上の無役の者。

西丸留守居

納戸頭…將軍家の衣服や調度類の調達と賜与の金銀・時服その他の物品を扱う。

膳奉行…將軍の食事のことを管掌する。

賄頭…將軍家で扱う食材の仕込みや、膳や椀、家具などの管理をする。

奏者番…年始・五節句などで大名や旗本が將軍に謁見する際、姓名の奏上、進物の披露、將軍からの下賜物を伝達する。

寺社奉行…全国の寺社・寺社領の管理、宗教統制全般を行う。三奉行の最上位。

所司代 (京都所司代)…京都の護衛、禁中・公家に関する監察と連絡、京都・伏見・奈良の三奉行の支配、京都周辺八ヶ国の幕府領での訴訟の処理、西国大名の監察などを行う。

城代 (大坂城代)…大坂城中にあつて城下諸役人を統率して政務を行い、大坂城守護・西国諸大名の動向を監督する。